

ゆとりすと健康マイレージ
がんばるポイント対象

第2回 認知症まるごとケア研修会 開催案内

地域の中で身近な方が「昔と人が変わった」「認知症？」など様子が気になることはありませんか。
昔ながらの住民と住み慣れた地域で生活していくために、私たちに何ができるでしょう。
目で見て、耳で聞いて、話をして、明日からできる認知症ケアに関する講座を今年度3回行います。
第1回に来られてない方も是非お越しください。

第2回題目	認知症の方への対応と在宅介護の話
日時	10月14日(日) 午前10時～11時30分
場所	大豊町農工センター 文化ホール (高須231番地)
講師①	大豊町地域包括支援センター職員
講師②	認知症の人と家族の会 高知県支部 小笠原 千加子氏



第1回の様子

対象者	住民・民生委員・区長・サービス事業所・医療機関などどなたでもご参加できます。
受講料	無料
その他	参加希望の方は、10月12日(金)までにご連絡ください。 当日参加も受け付けをしています。

問い合わせ先 ▶ 住民課 地域包括支援センター班

第19巻 地域包括支援センター通信

『天坪・ミニデイ』

天坪公民館「希望」の前に来ると、にぎやかな声が聞こえてきました。中を覗くと、広い調理場と2部屋続きの畳の間があり、調理場の方で数名の方がだんらんされていました。今日はミニデイの日です。畳の部屋にはパイプイスが用意されていました。
◇この活動はいつから、行われていますか。
「平成22年の8月からです。」

◇この活動が始まったきっかけを教えてください。
「年数回、食生活改善推進員(ヘルスメイト)の集まりで体操をしていました。その後ヘルスアップ体操が行われ、その体操が終わる時に「毎月体操をやってほしい」という声があがり、社会福祉協議会(あったかふれあいセンター事業)が体操に入るようになりました。」



◇この活動のウリ、楽しみは何ですか。
「みんなに会っておしゃべりができること。」「人と話すことが脳トレ。」「ひきこもりにならない。」「一人で家にいたら天気が悪いとウツになる。」「体操を本で見ても続かない、TVで見ても2、3日はするが忘

れる、体操に来るのがよかった。」と、たくさん声をいただきました。
◇やっていて大変なこと、困っていることはありませんか。
「来てほしい人が来てくれない。出て来ない人は出て来てくれない。」
◇これからの展望・希望は何ですか。
「ヘルスメイトは「食」、社協(あったかふれあいセンター事業)は「体操」とバランスが取れているので、続けて行けたら。」



『認知症まるごとケア研修会第1回』

『ささまざまな認知症の見分け方』
8月19日(日)、徳島県内の複数の医療機関で診療を行っておられる七条文雄医師を講師にお招きして、第1回の認知症まるごとケア研修会を開催しました。参加者は88人と、たくさんの方が参加がありました。
七条医師からは、次のことを教わりました。
●脳の細胞は50歳で毎日20万個死滅してい

る。脳を使えば使うほど新しく生まれる細胞がある。
●65歳以上の高齢者では7人に1人が認知症、軽度認知障害(日常生活に支障がない程度)を合わせると4人に1人は認知に障害がある。(認知症有病率調査)
●脳が障害される箇所、原因によって症状が違う。
●認知症は加齢によって起こる病気なので、治す(若返る)薬はないが、症状を抑える薬はある。
●家で座ってTVを見ているだけの生活では脳への刺激が少ない。人と交流することが大切。
最後に研修会の振り返りを兼ねて参加者全員でじゃんけんゲームをするなど、学びが深く、楽しい研修会となりました。
次回は、10月14日(日)午前10時から『認知症の方への対応と在宅介護の話』をテーマに農工センター3階ホールで行います。ご参加お待ちしております。



町のできごと

株尾崎塗装工業様よりご寄附
社会貢献活動の一環として、穴内公民館へAED(自動体外式除細動器)を寄附、さらには救急救命の講習を開いていただきました。
また、大杉保育所では無償で遊具などを塗り直していただき、最後の仕上げを園児と一緒にしました。みんな初めての体験を喜んで「将来はペンキ屋さんや!」と言う子もいました。



株ガイアアート 四国支店様よりご寄附
西日本豪雨の義援金として金一封をいただきました。株式会社ガイアアート様は、高速度道路の舗装工事を行っていて、高知自動車道立川橋の崩落のこともあり、社内で集められた義援金を本町へ贈っていただきました。

